

令和8年度 第2回 井伊谷小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年6月9日（火） 午後2時30分から午後4時30分まで
- 2 開催場所 井伊谷小学校 生活科室
- 3 出席委員 安戸 哲弘、中野 正雄、高林 幸子、池田 信子、石原 章好
田力 圭治、市川 秀樹、鈴木 ゆかり、柴田 悠司、内山 雅昭
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 川西 孝幸（浜松市役所引佐支所）
- 6 学 校 芦田 康宏（校長）、黒柳 泰行（教頭）、有谷 剛仁（CS担当）
山下いづみ（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 山下いづみ
- 9 議長の選出 議長の選出については取り決めのとおり、名簿順にて高林委員が選出された。
- 10 協議事項
 - （1）1学期の取り組みとこれからについて
 - ① 働き方改革について
 - （2）本校の教育課題について
 - ① 学習ボランティアについて
- 11 会議記録

司会から委員総数10名出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

 - （1）1学期の取り組みとこれからについて
 - ① 働き方改革について

浜松市教職員に関する業務管理・健康確保措置実施計画について、教頭より説明があった。「学校と教師の業務の3分類」項目〔1〕～〔15〕を参考にして、意見を頂きたいと校長より提示があった。

委員からは以下の質問、意見があった。

 - ・ 時間外労働をしている教職員の内訳についての説明を求めたい。（柴田委員）
高学年の担任の残業が多い傾向にある。授業終了時間が遅いので、書類処理等の時間がずれるためと考えられる（校長）
 - ・ クラブ活動がなくなったことで、放課後の負担は減ったのではないか。（内山委員）
〔4〕地域学校共同活動の関係者間の連絡調整等について、例として学習ボランティアと教職員との連絡調整は教員が行っている。日程調整や説明等、授業時間外の業務となっている。（校長）
 - ・ 〔10〕校門の開錠は用務員（シルバー人材センター）に任せる等、外部に依頼することよいのではないか。（石原委員）

- ・ さくら連絡網（学校と保護者間の連絡アプリの導入）の活用で、出欠届け出等が楽になり保護者も助かっていると思う。（池田委員）
 - ・ 電話の学校対応については、勤務時間に合わせてもよいのではないか。（柴田委員）
電話内容で判断せず、16時30分という時間で区切る選択になる。教員と保護者の相互連絡をふまえての実施としなければならないと思われる。（校長）
 - ・ 担任の補助はどうなっているのか。（田力委員）
学習支援員が付いている、さらに学習支援ボランティアの力を借りたい。（校長）
- 問題点を持ち帰り、次回以降も考えてみてほしいとの司会より提示があった。
協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

（２）本校の教育課題について

① 学習支援ボランティアについて

保護者ボランティア計画について、教頭から報告と説明があった。

家庭科ボランティアに参加した池田委員より、実施報告があった。

一人一人に対応していけるのが良かった。補助員が多くいることで、子供も安心して作業することができると感じられる。参加した保護者からは、教員一人での対応はとも大変な状況であるとの感想をもらった。

活動が横に広がり、人員をリスト化することができ、コーディネーターに間に入ってもらい調整ができるようになるのが望ましい。（教頭）

全員意義なくこれを承認した。

（３）その他報告事項

今後の開催予定

第3回、第4回の開催日程の連絡があった。